

カミツキガメの生態と沼の汚染を観察
外来生物から印旛沼を守ろういんざい
自然探訪

環境保全に
対する意識の
高揚を図り、

自然環境への関心を高め
ることを目的に「いんざ
い自然探訪」が本年も夏



休み期間に開催された。
7月29日の第3回「印旛
沼でカミツキガメを見て
みよう」では30名ほどの
親子が体験学習に参加し
た。

印旛支所で「カミツキ
ガメ」と「印旛沼の汚れ」
について県生物多様性セ
ンターの講師から説明を
受けた。その後西印旛沼

スト5の常連だ。直近3
年では当沼が汚染度ワ
ースト1位で、2位はお隣
の手賀沼。
汚染の主原因は外来生
物の侵入増殖で、外来動
植物が水の浄化を助ける
在来固有種を根絶やしに
し、外来植物が沼面を覆っ
て沼水の代謝を阻止して
いるとのこと。

たが、この日の捕獲は0。
カミツキガメは、50年
ほど前にペットとして輸
入されたが甲羅が50セン
チ、体重が35^{キロ}にもな
り、寿命が50年で飼主
が飼育しきれず、沼など
に離したのが繁殖の原因
とされている。沼の生態
系に深刻な影響を及ぼす
危険な生物なので、輸
入、飼育、運搬、譲渡も
禁止されている。

で見廻り、その生態と危
険性について印旛沼漁協
の人と質疑応答。沼の水
質検査も参加者の児童が
実際に測定し、深刻な水
質汚染の現状を学習し
た。

その代表で特定外来生
物に指定されているカミ
ツキガメは、北米南米原
産の雑食動物であり、漁
具損壊や漁獲物捕食など
の被害だけでなく、わが
国固有の動植物を絶滅さ
せる勢いで増殖中だ。

漁協では連日、籠ワナ
を仕掛けて捕獲している
がその量は年間1000
匹にも満たない。同沼一
本松地区8カ所を見廻っ
たが、この日の捕獲は0。
カミツキガメは、50年
ほど前にペットとして輸
入されたが甲羅が50セン
チ、体重が35^{キロ}にもな
り、寿命が50年で飼主
が飼育しきれず、沼など
に離したのが繁殖の原因
とされている。沼の生態
系に深刻な影響を及ぼす
危険な生物なので、輸
入、飼育、運搬、譲渡も
禁止されている。

高木さん。

向院カフェテラスまで
2.5^{キロ}のコースを歩く。

参加費300円(資料・保
険代)。別途カフェ飲食代
500円。申し込み☎F
AX兼用047・70
5・4817(高木さん)

今月27日(日)10時から
市川市国府台近辺でまち
歩きワークショップが開催
される。京成国府台駅改
札前9時50分集合。江戸
川土手から里見公園、回

●犬猫の譲渡会(雨天実施)
毎週日曜11時～14時
我孫子市役所駐車場にて
ameblo.jp/abikol-24sunday
wannekodai3.blog.fc2.com
☎080-8723-9550(吉原)